

# 一般質問

置を助成し、進まない住宅の耐震改修の支援を充実すべきでは。

**答** 感震プレーカー設置は市町村や県民に呼びかけていく。耐震改修は負担が大きいので、簡便な工法の開発を含めて取り組む。

## 元氣な未来を創ろう

**問** ピケティの「21世紀の資本論」は、経済格差の拡大を問題とする一方、二つの大戦の復興期は経済成長で格差が縮小したと指摘している。そこで、技術革新で鳥取を豊かにすべく一次産品と食品の高付加価値を目指すフードバレー構想を提案、1億円超が予算化された。構想は中小企業も取り組め、創業や化粧品へ裾野を広げれば新産業の創造だ。更なる支援を。

**答** 最近はおもしろい研究が出てきている。未来型の産業として創薬も視野に入れていきたい。

**問** 地元企業を商品開発、販路拡大、資金繰り、人材育成の各段階できめ細かに支援すべきでは。

**答** 各ステーションを追った支援をやっていく。補助金制度等は使い易くなるよう柔軟に検討したい。

**問** 海士町は都会の若者の挑戦に資金提供し、町内の雇用創造へ繋げている。この発想の転換は面白

い。鳥取県でも取り組んでみては。

**答** 現状のフレームだけではこういうビジネスを育てていくのは難しい。部局間連携で新しいスキームを検討して参りたい。

## 人に優しい未来創ろう

**問** 介護と子育ての支援が女性を支える上では重要だ。デイサービスでは想定していなかった宿泊が常態化している問題で、利用者の安全を守るガイドライン案に事業者の反対で例外規定が設けられた。形骸化しないよう個別点検を。

**答** 議員の質問がきっかけで国に先行して作ったガイドライン。運用を適切にしていきたい。

**問** 学校司書が法制度化された。司書が子らの声に耳を傾けることで、子らの主体的な学びを支え、癒やしの場にもなるワクワク空間に学校図書館を再構成しては。

**答** (教育委員長) 大変良い話だと思つた。子どもたちの居場所を目指して司書の研修会で話したい。

**問** 差別的な表現を改めるポリティカル・コレクトネスを求めてきたが研修会があっただけ。意識改革を目指して更に努力されたい。

**答** まだまだ徹底されていない。今後よく点検させていただく。

11月定例会では、21人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

## 若桜鉄道にSL社会実験

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

**問** 地方創生のモデルとして若桜鉄道の観光機能強化が必要だ。県東部の広域観光の目玉に成りうる若桜鉄道に一日だけSLを走行させる社会実験を考えている。この夢のプロジェクトを県に支援して頂きたいが、平井知事の所見は。

**答** 県も若桜鉄道の利用促進委員の立場としてこの社会実験のプロジェクトを応援したいと思う。

SLを走らせることが全国の注目を集めるきっかけになれば、これは一つの起爆剤となると思うので我々も協力していきたいと思う。

## 子育て王国と防災対策

坂野 経二郎 議員



選挙区 鳥取市 会派 絆

**問** ①病児病後児が、そばにいて欲しいのは両親だ。施設整備だけでなく会社を安心して休める社会づくりが必要だ②育児・介護がよりに必要となる未来の鳥取県のために今からテレワークの推進を③防災の観点から、とっとりWEBマップと、スマホのGPS機能を連携させるべき④とりぎん文化会館に、ハートフル駐輪場を設けては。

**答** ①新たな視点として検討する②新年度に向けて具現化する③年内には、指摘の内容整備を完了させる④試験的に実施する。

## 党派正式名称

- 自由民主党…鳥取県議会自由民主党
- 絆…鳥取県議会会派「絆」
- 希望…鳥取県議会会派「希望」
- 公明党…公明党鳥取県議員団
- 共産党…日本共産党鳥取県議員団

## 県産木材の 地産地消推進

森 雅幹 議員



選挙区 米子市 会派 絆

**問** 農産物と県産木材では地産地消の旗の振り方が違うではないか。県産木材を使っている工務店とハウスメーカーとでは、宣伝力が大きく違う。県が担う役割があるのではないか。

**答** 農産物と同様に、地産地消の意義をわかりやすく子育て世代に伝える工夫をする。公共施設等は、県産材を使っている。「とっとり住まいの支援事業（県産木材の使用量等に応じて助成最高95万円）」を推進しながら、取組んでいる事業所の紹介も含めて取り組む。

## ため池改修の 見直しを検討

伊藤 保 議員



選挙区 東伯郡 会派 絆

**問** 戸別所得補償の半減、米価の下落、減反政策の強化などにより、農家収入は昨年に比べ県全体で52億円減少するとも言われ、米農家の経営はひっ迫し、年々厳しくなっている。中でも水田の三割

がため池による稲作で、ため池の改修工事の負担が農家に重くのしかかり、受益農家だけでは賄いきれない。しゅんせつ工事の単独補助や負担の見直しをすべきでは。

**答** 農家の負担感は強まっている。実態も調べ、要件を満たす場合は、助成制度等も検討したい。

## マタハラ防止 調査支援策を

濱辺 義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

**問** 在職中の20代〜40代の女性対象の意識調査によると、およそ4人に1人がマタニティーハラスメントの被害を受け、妊娠、出産等で働けなくなった社員の支援体制の不備が指摘されている。県内の実態調査、対策を検討すべきと考えるが知事に問う。

**答** 現在、女性活躍加速化アンケート調査を実施中で、マタハラについても労使双方に意見収集しているところである。調査結果を踏まえ、県としてどういう対策が考えられるか、検討したい。

## 戸別所得補償 Sはくと増便

岡治 英夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 絆

**問** ①米価下落や収穫量の減少、米交付金の半減による県内米農家の収入減少額は、廃止された戸別所得補償による補てん額は、ナラシ対策の補てん額は、戸別所得補償の復活を国に要望を②スーパーはくと倉吉駅発着便の増便を。

**答** ①収入減少額は52億円。戸別所得の補てん額は35億円。ナラシ対策は3億円、ナラシ移行円滑化対策は8億円だ。戸別所得補償は総選挙の争点で、意見を言うべき時期でない②JR米子支社長、JR本社にも強く要請する。

## F-I-T制度と とばく依存症

長谷川 稔 議員



選挙区 倉吉市 会派 無所属

**問** ①固定価格買取制度（F-I-T）での再生可能エネルギーの系統連系接続を5電力会社が拒否した。問題点と中電の状況を伺う②賭博依存症は精神疾患で、家族も巻き込む恐れがある。相談窓口の設置を。

**答** ①太陽光発電が集中的に増加したための拒否で、水力、バイオマス、家庭用太陽光を優先させる方向で議論が進んでいる。中電は受入可能容量の公開を始めたが、事業者への配慮と思う②対策の推進委員会を発足させた。医師、自助グループ、家族の3方向から検討したい。

## 観光・イルミネーション

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

**問** 花回廊ウインター・イルミネーションを訪れる来園者への駐車場やアクセス道路などの環境整備が必要ではないか。

**答** ご指摘の箇所を改善し来園者が安全安心して存分に楽しめる環境づくりを進める。

**問** 空の玄関口となる米子・鳥取空港ターミナルビルにムスリム観光客のための祈祷ルームの設置など施設整備をすべきでは。

**答** 県内2つの空港に、できるだけ早く祈祷ルームの設置を行いたい。関係者と速やかに協議を行う。





## 認知症対策と女性施策推進

浜田 妙子 議員



選挙区 米子市 会派 絆

**問** ①本県から国を変える思いで女性施策を進めるべき。県の女性管理職登用の次の目標は②法改正で保護観察対象者の一部に社会貢献活動が義務づけられた。県下に協力を促すべき③鳥取県版認知症初期診断対応モデルを作っては。

**答** ①この分野で本県は全国の地域を引っ張っており、この流れを止めるつもりはない。2020年には今の2〜3%UPに結びつきたい②県も仲立ち等関与していく③鳥取医学部とタイアップして鳥取モデルを作っていきたい。



## 大交流時代で地域を豊かに

横山 隆義 議員



選挙区 東伯郡 会派 希望

**問** ①鬼太郎、鳥取砂丘コナンと県の東西端に漫画の愛称が入る空港がある県はない。鳥取インの米子アウトやその逆の旅行商品の造成とローカル交通網整備で、県内周遊型観光の充実を②第6回ワールド・トレイル・カンファレンスの県内開催が内定。海外を含め4千人超が来県し、ウォーキングなどを楽しむ計画だ。県を挙げて支援を。

**答** ①議員の仰る視点で取り組みたい②正式決定の連絡があれば、すぐにも関係者と実行委員会を立ち上げ、事務局組織もつくりたい。

## 未来の危険を取り除こう

国岡 智志 議員



選挙区 八頭郡 会派 希望

**問** ①旧八頭郡を中心とした連携施策の強化と災害時の孤立集落発生へのリスクを軽減させるために、綾木峠工区再開と物見峠の継続改良、国道53号線の黒尾峠改良を②

郵政グループとの連携を強化し、お年寄りを守る地域の見守りコミュニティの創設を求める。

**答** ①郷原芦津間は、精力的に地域の交通の障害を取り除かれるように全力を挙げていく②郵便局には現場の声を聞いて協力を呼びかけたところ。見守り協定のレベルアップを少しずつ図っていきたい。

## 藻場造成で漁業振興を

森岡 俊夫 議員



選挙区 境港市 会派 希望

**問** 沿岸漁業対策として藻場造成や養殖を公共工事として取り組む必要があるのではないか。

**答** 藻場造成や養殖を積極的に進めていく、これが全国豊かな海づくり大会の基本理念であり、磯焼け対策や未利用海藻の活用について漁業者と連携して進めていく。

**問** 敷設している沖合漁礁の効果の検証が必要ではないか。

**答** カニ牧場など効果が表れているのかどうか不断に検証しながら、今後には活かしていく必要があると考えている。



## 政務調査費は適正か

伊藤美都夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 希望

**問** 地方議員の政務調査費について、兵庫県議会議員の号泣会見以来、不適正支出に国民にショックを与えた。鳥取県議会にも県民の声が多く寄せられている。議員に支出された公金の適正な公開を強く認識する。知事の所見は。

**答** 政務調査費を含めた議会改革は本県でも急ピッチで進められており、これからも、透明性のある、説明責任を果される議会であることを改めてお願いしたい。民主主義の基本を地方自治の世界から、鳥取県から表現、実行したい。

## 療育センター充実策を問う

内田 隆嗣 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

**問** 総合療育センターの入所施設は18歳までを対象とする通過型で、超重症の方が保険入院と短期入所を繰り返されているが、在宅生活が困難な方の生活の場の確保が大きな課題だ。退所者の生活の

場の確保、看護師不足といった課題にどう対応していくのか所見を伺う。

**答** 議員のいう生活モデル、医療モデルそれぞれに従って、子どもたちの発達支援、観察、保障していく、そのような仕組みをトータルで作っていく必要がある。

## ジオの取組と高校の在り方

広谷直樹 議員

選挙区 岩美郡 会派 自由民主党



**問** ①山陰海岸ジオパークは4年目の再認定を受けたが、今後の課題として改善点が指摘された。対応策としての取り組みを伺う②高校の在り方の答申が出された。中山間地域の小規模校への対応は厳しい答申内容と受け止めるが、一定の基準の設定とは何か。

**答** ①GGNから勧告書が届いたが、内容を誠実にフォローすれば課題がクリアされると考えている②(教育長) 他県の例も参考に県教委の中で検討を重ね、幅広く意見を伺い基本方針の中で示したい。



## 小児医療費とJR高架化

銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市 会派 公明党



**問** ①小児医療の更なる負担軽減を②県内企業の共同受注体制への支援を③今秋のアジア太平洋ジオパークシンポジウムへの取組は④因美線高架化と若葉台新駅設置を。

**答** ①負担軽減と年齢拡大との政策効果を見極めたい②補助金等の改善、制度充実、マンパワー活用を考える③シルバーウィークにつながるり重点的なツアーテーマとして取り上げたい④市の事業であり早々の高架化や新駅は困難だが、踏切や渋滞、騒音は解決を目指し関係機関と議論を重ねていく。

## 生活困窮者の対策充実を

錦織 陽子 議員

選挙区 米子市 会派 共産党



**問** ①平成19、20年度は原油高騰に対応して生活保護世帯へ福祉灯油を実施。その後高止まりの上、昨年冬季加算は減額。生保世帯・低所得世帯への福祉灯油の実施を求める②生活困窮者自立支援事業

は窓口対応が大事。人材教育は。

**答** ①灯油、中小企業や漁船の油への配慮は地域経済対策としても取り上げるべきでないか。まず国全体の動きをみて県も適切に対応していく②県社協への委託で市町村研修を実施。市町村では今後の方法を検討中。国も研修会を予定。

## 消費税、暮らしまんが王国

市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市 会派 共産党



**問** ①消費税増税中止を②まんが王国は中止。まんがアルファビル家賃助成企業の雇用0や解雇の責任追及を③国保料引下げ支援。滞納者4割が無保険証だが④小児医療費無料に⑤みなし寡婦控除で未婚一人親家庭の県住家賃軽減を⑥三朝医療センター維持と研究の約束遵守を⑦国府神護地区にバスを。

**答** ①国会で決着を②まんがは戦略で重要。補助金返還あり得る③支援考えない。保険証発行は徹底する④考えてみる⑤そうする⑥担保されるよう臨む⑦相談する。

## 共生の社会を目指して

浜崎 晋一 議員

選挙区 鳥取市 会派 自由民主党



**問** ①あいサポート・アートととりフェスタ、手話パフォーマンスタ甲子園の開催を通じた本県の今後の障がい福祉の方向性は②ひきこもりの方をはじめ、行政の支援が届きにくい狭間・谷間の方々への支援展開を図るべきでは。

**答** ①我々がひたむきにやってきたことが国の中枢に届き始めている手応えを感じている。私たちは障がいを知り、共に生きるという方向性で自信を持って障がい者福祉に取り組んでいきたい②地域の支え合いをさらに前進させたい。

## 知事退職金・給与と博物館

谷村 悠介 議員

選挙区 鳥取市 会派 無所属



**問** 来期出馬表明する時期に退職金支給比率引き上げはタイミングが悪い。知事給与は島根県に比べかなり高い。削減は島根くらいにすべきと考えるが知事の所見は。

**答** 給与と退職金の割合を変え総



額は変えない。給与水準は自分で決めず、詳細にタッチしていない。

**問** 今の博物館は歴史美術の施設として存続し、自然科学分野は砂丘こどもの国施設内に博物館として新設すべきと考えるがどうか。

**答** (教育長) 年度中に選取肢を検討委が提示予定。議会と相談する。

## 大山開山

### 1300年祭

福岡 裕隆 議員



選挙区 西伯郡 会派 絆

**問** ①大山開山1300年祭に、県が主体的積極的に取り組むべき  
②周辺自治体や地域住民、経済界を巻き込んだプランを立ててみて  
③岡山県との連携も必要では。

**答** ①積極的な役割を今後果たしていくように議論する。自然やスポーツに広げたイベントを考える  
②関係の地域や企業なども含めて推進母体を考えていく必要がある  
③大山サミットや岡山との両県知事会議で構想を話し合ってみる。2018年までに大山というすばらしい山を検証していく。

答弁者は、記載のないものは知事(各部署局長の答弁も含む)。

## 海外派遣

### スポーツツーリズムの可能性探る

#### 台湾訪問団

台湾訪問団は10月21日から24日まで台北市、台中市及び桃園県を訪問した。参加したのは小谷、伊藤保、長谷川、森の4議員。

台湾から鳥取県への観光客が増加しているが、中でもスポーツツーリズムに注目が集まっている。そこで、台湾最大の自転車メーカーで、関連会社が本県へのサイクリングツアーも企画したジャイアント社を訪問した。同社は「鳥取県は自然が豊かで、食べ物も美味しく、親切な対応に感動した」とお話を頂く一方、米子市と境港



市を結ぶサイクリングロードや米子鬼太郎空港への直通アクセス、空港の荷物検査装置の整備が必要

## 海外派遣

### 江原道議会で野田議長がスピーチ

#### 江原道交流団

韓国・春川市で開催された鳥取県と江原道友好交流二十周年記念行事に野田修議長が訪韓して参加した。林副知事らと記念交流団を組んでの訪韓で、金晃晟・江原道議会議長の配慮で、道議会の本会議場に登壇、記念スピーチした。

野田議長は「友好交流に関する協定締結以後、米子ソウル便と環日本海定期貨客船の就航で、両道・県を結ぶ交通インフラは飛躍的に充実し、両道・県の民間や自治体の交流は、今や日韓交流のモデルケース」と強調。「人は、人と出会って初めて知人となり、共に語り合って友人となり、共に汗を流して仲間となる」という格言を紹介した後、「幾度となく訪韓して交流を重ねているが、地方自治体

との指摘を受けた。帰国後、関係部局との協議を始めている。

10年以上梨の穂木の輸出で交流を続けている石岡区農会や米子東高と姉妹校提携している国立陽明高級中学と意見交換を行い、国際交流の重要性を再認識した。

同士が汗を流し、顔の見える交流を続けることが、国レベルでの友好交流を支える」と話し、議席の江原道議員らから盛んな拍手を浴びていた。

